

THE Official Journal of the JARL QRP CLUB
 現在会員数 : 272人

(JARL 登録番号 11-4-15)



QRP NEWS

小さなパワーで大きな感動
 QRP: Small Power, Big Dreams!

Vol.11 March 2009

PRESIDENT	JH1FCZ
VICE PRESIDENT	JA1KGW
SECRETARY-GENERAL	7L3DNX
TREASURER MANAGER	JR3ELR
AUDITOR	JA9CZJ
AUDITOR	JR7HAN

Contents

1. Topics/巻頭言.....	P-1
2. QTC:全国集会協力者募集.....	P-2
3. Total Power Competition 2009.....	P-2
4. QRP で遊ぼう(楽しい QRP).....	P-6
5. 会員のQSL紹介.....	P-7
6. コンテスト通信.....	P-8
7. コンテスト.....	P-8
8. QRP な DX の世界から.....	P-9
9. DX 短信.....	P-10
10. 古炉奈通信(懇親会顛末記).....	P-11
11. 役員便り.....	P-12
12. 会員紹介.....	P-14
13. QRP 懇親会のご案内	P-14
14. 編集後記.....	P-14

Topics

- 1) 今月も「Total Power Competition2009」の特集です。(P-2~8)
- 2) 2009 年の全国集会の運営協力者募集があります。(P-2)
- 3) 新コンテスト担当の JF6LIU/1 富樫さんからのコンテストの案内があります。(P-9)
- 4) 国際 QRP デー特別記念局についての正式発表があります。(P-12)
- 5) 継続会費の入金をお忘れなく!! (P-13)

巻頭言

会長

JH1FCZ 大久保 忠

OKUBO Tadashi



私たちが役員に選出されてからはや一年が経過しました。

ここに来て海外から朗報が入って来ました。詳細は 2 ページの中島さんの書かれたものを見て頂きますが、イギリスの "G QRP CLUB" とアメリカの "QRP ARC" という世界的な 2 大 QRP クラブの会報に我が JARL QRP CLUB の企画した「究極の QRP コンペティション」について、「JA QRP Club Challenge」Ultimate QRP-「Total Power」(G QRP) と、「JARL QRP CLUB Announces the First "Ultimate QRP "Competition"(ARC) という記事が大々的に掲載されました。

この快挙は、私たちの日頃の活動が世界的に認められる玄関口にさしかかったことを意味していると思います。これを機会に今までコンペへの参加を様子見なさっていた方々も、リグは何でも構いませんから是非参加するように考えてみてください。その参加は入賞するかしないかということとは別にきっと QRP というものの本質について気づかせてくれると思います。

私たちが役員になって一年もたって、全く面目のないこともありました。それは今期予算における会員数の問題です。会報 5,6 月合併号の 5 ページにありました今期予算案に、pdf 会員 182 名(182 名 × ¥3,000 = ¥546,000)、郵送会員 183 名(183 名 × ¥4,000 = 732,000) とありましたがこれが 132 名と 133 名のそれぞれ間違いであることが分かりました。この件については別稿で会計役員からの報告とお詫びがありますが役員一同、今までこの間違いに気がつかず一年も経過し、今日ようやく気がつくという失態を演じてしまったことに深く反省すると共にお詫び申し上げます。

ついでといっちは申し訳ありませんが、ホットメールその他でご質問のありました問題について説明させていただきます。予算案の中で収入の中に支出項目があることについての疑問がありました。これについては過去からの習慣であるとの会計からの説明でした。この件については別稿で会計役員が説明します。

予算案の中の積立金について質問がありましたが、それについては本年 1 月号で説明いたしました。その際、少し説明不足の部分がありましたので補足しておきます。積立金を作った経緯は、(1)繰越金の中に期をまたがり 7 年も定期的な支出が予測されるものがあり、それを別枠で積み立てておく。(2)繰越金の額が年会費と同等近くになって来ているがその中には企画によって必要となる金額が含まれているのでこれを別枠とする。という理由からでした。したがってこの積立金は必要を生じるまでのものであって、当然来期にも継続して行くものであります。

また、この積立金に対する説明が個人に対する説明のように受け取れるがということについては、会報に載せた

ということは会員全体に説明したものと理解して欲しいと思います。

予算の重要項目になる会員数に関する質問がありました。昨年 9 月号より会報の TOP に会員数を掲示してあります。ただし pdf 会員と郵送会員の内訳までは必要ないものと解釈して現在に至っていますが、2月23日現在では pdf 会員 138 名、郵送会員 122 名、海外会員 12 名となっております。尚、海外会員は予算の対象にはなっておりません。qrp-ML で記載した両者の割合「約半数」はここからの数字です。

これから先日お配りしたアンケートの集計に入ります。はがきの他、沢山の方から郵送、メール等でもご意見を頂きました。その全文をここにご披露する紙面もありませんので割愛させていただきますが役員会での討議の参考にさせていただきます。ありがとうございます。

QTC

2009 年 JARL QRP クラブ

全国集会運営協力者募集

JF2NMY 高木正人



2009 年全国集会につきましては、現在、代表 JF2NMY 高木正人、事務局 JF2UJG 太田和巳で準備中ですが、さらに、大勢のスタッフの協力をお願いしたいと考えています。

愛知県および、その周辺の2エリア在住の方々に、協力していただける方は、

JF2NMY (kappy-t@m2.catvmics.ne.jp)

もしくは

JF2UJG (jf2ujg@jarl.com)

までご連絡をお願いします。

Total Power Competition 2009

TP コンペティション担当
JL1KRA 中島 潤一
JUNICHI NAKAJIMA



■海外クラブからの反応

無料配布を始めた測定用抵抗セットも 2 ダースほどが掃けました。皆さまの測定は順調でしょうか。

この間、JH1FCZ 大久保会長の“究極の QRP 提言”が G-QRP 会報 SPRAT2008/2009 Winter に掲載され、また 7L3DNX 竹野さん経由で QRP-ARCI の会報 QRP Quarterly に掲載されるという快挙がありました。両クラブには大久保会長、竹野さんの作り上げた個人的なつながりもありますが、かくも大々的に 2 大 QRP クラブが会報に取り上げるといことは喜びです。サンスポットが低下し QRP-DX が低調、HF の自作も Elecraft のような完成度の高いキットまで到達し、次を模索する世界の QRP 界が QRP の本質を問いかける大久保会長の提言と、何やら面白そうなることを始めた JA QRP に注目しているように感じます。また日本から発信するということの大切さを重ねて感じます。

会長の提言にとどまらず、ここで会員の我々が持つ底力、アクティビティを TP コンペでぜひ提示したいところです。



SPRAT

THE JOURNAL OF THE G-QRP CLUB

DEVOTED TO LOW POWER COMMUNICATION

ISSUE Nr. 137

© G-QRP-CLUB

Winter 2008/09



The "Bell Ringer"



The "Flea"

Two of our four minimalist transceivers featured in this issue

The FETer Transceiver ~ The FLEA Transceiver

Minimal Art RX/TX ~ Voltage, Current or Hybrid Balun?

Z Match Mod ~ Transistor Tester

The BELL RINGER Transceiver ~ dBm Chart

JA QRP Club Challenge

Antenna - Anecdotes - Awards - Communications & Contests

QRP Calendar - VHF News - Member's News

(図) SPRAT 冬号、表紙にも JAQRP の文字

Ultimate QRP - "Total Power"
 Tadashi Okubo JH1 FCZ (Chairman JA QRP Club)
 56-12, Miyakojimachi, Sakura City, Chiba pref. 285-0016, JAPAN

QRP's objective is generally considered to be "how far can your signal go with minimal power?" To use today's parlance, it is "energy efficient communication". In this sense, "Minimal Power" points to the "transmitting power". Take a 10W transmitter and reduce the output to 1W using an attenuator. That is technically a "QRP" but it feels less than satisfactory.

The obvious next step is to limit the amplifier power, i.e. use a transmitter that is only capable of 1W of output power. Where do you get such a transmitter? Well, you make your own, of course. This is the "usual QRP".

But can you go one step further? As an expert QRP'er, you may feel real QRP requires the total energy consumption of the transmitter to be "minimal". To achieve this goal, you may have to create a circuit of your own. Some aerial / antenna R&D may also be required. Now that's "superior QRP" - or is it?

(図)SPRAT に載った大久保会長の「究極の QRP」提案 (一部抜粋)。

細則は載っていないため今後 Web で提示する予定。



(図)QRP Quarterly に掲載された究極の QRP コンペ案内の一部。デイトンのアイボール画像とともに竹野さんからの報告として掲載されている。

■TP エントリー宣言された会員からの報告

JH1FCZ 大久保会長は CirQ31 号、
<http://www.fcz-lab.com/cirq.html> にて“TP 三専用 QRPp送信機を作る”として 7 ページに渡り回路の試行錯誤を報告されています。まだご覧になっていない方は必見の内容です。

JA3PZM 大隅さんからは市販機エントリーの情報が届いています。メーカー機エントリーでは旧機種を押し入れから掘り起こすに留まらず、TP ハンディキャップを追い求め旧機種を入手という大胆な作戦です。古い機種のスペックをインターネットで調べると概ね受信電力が FB だとわかります。大隅さんの QRV 方針は今の 2mFM のアクティブティ状況では正解かもしれません。と言いますのは、スタッフ JL1KRA も先日横浜ランドマークタワー展望台に 1000 円払って登ってきました。さぞ遠くと QSO 出来るだろうと思ひ、DJ-C7 とロッドアンテナで CQ を出すも休日の 144MHz が何故か閑古鳥、これにはガックルしました。何とか 1000 円の元を取るべく、“誰か頼むからレポートだけ下さい”とメインチャンネルで哀願すると、ようやく横浜市青葉区から応答があり、距離約 13km、8.9km/TPWと早くもブービー賞クラスの記録になりました。

自作機では CQ 誌連載で定評のある JF1RNR 今井さんからは 2 石 TX の回路が寄稿されました。これまで手軽なこのクラスの自作 TX は東京科学無線

<http://tokyokagakumusen.jp> で販売されているアイテックの 2ch 送信機キット MC223 を使うか選択肢がありませんでしたが、専用基板のため価格が 5040 円とちょっと高いものでした。今井さんの方式であれば FCZ10S コイ

ル 5 個を再現性のために奢っても 1500 円程度で出来そうですので、当世のお財布に優しく実験にも向いています。キット頒布もいたしますので最後までお読みになってください。ちょっとしたいざらですが、自作 TX にダメーをつないでワイヤレスマイク代わり、お気に入りのヒット曲や懐かしのアニメソングをハンディ機に飛ばしたりするのは結構楽しいです。

引き続き各局からの TP コンペ参戦表明、作ってみた、運用してみた、などのご報告をお待ちいたしております。簡単に自作できる 2m 用アンテナなどもお願いします mx6s@yahoo.co.jp または郵送でも OK です。

旧機種 C501 を入手して TP に挑む

#344 JA3PZM 大隅康司

自作する技術が無いもので、C501 をオークションで入手しました。All JA、6m & Down、フィールドデーでの QSO を目指して、変更手続き、アンテナの準備を進めますので宜しく願います。早速、計測してみました。測定結果(添付)はほぼカタログとありでした。DJ-C7 よりは若干良いようですが、ハンディは自作機に到底敵わないでしょうから、後は移動とアンテナでの勝負ですかね。Hi。

STANDARD C501 TPW 測定結果

目	C501 カタログ	C501 実測
V _{cc} (V)	3.0	3.1
I _{tx} (mA)	280	283
I _{rx} (mA)	34	* 50 (35)
TPW (W)	0.94	1.03
TPW handicap	1.03	0.97

*信号受信時 VR は Min, (35)は待ち受け時
 DVM:秋月 P-16 抵抗 1Ω

144MHz 2 石 FM 送信機 (出力 15mW)

#066 JF1RNR 今井栄

今回の TP コンペは、2m FM ということで、TP を競うようなバンド、モードではないこともあり、参加の意思はありませんでした。ところが、中島さんがまとめ役をされることや大久保さんの意気込みもあり心がすこし動き始めました。

秋葉原の QRP ミーティングに参加される方々は、情報も多いし、また、技術力もあり難なく TP 機を作られるとおもいますが、参加したくともどう作ったらよいか見当もつかない方も多いと思います。

CQ 連載で 29MHz の 2 石 FM 送信機を予定もあるので、これを 2m 版で試作してみました。ハンディにラジオの音声を飛ばしてみたら、これは面白いそんなわけで、ひとりでもやってみようとする方がいれば良いかなと思ひ、まだ、途中ですが、製作例をレポートします。簡単な説明と回路図を添付しました。

図 1 が回路図です。18.15MHz の水晶を VXO と同時に 4 倍して 72MHz 帯を取り出しています。FCZ10S50 の複同調と 7pF で 72MHz に同調します。ファイナルでさらに 2 倍して 10S144 の複同調により 144M 帯を取り出しています。そのあとにスプリアスを考えて T 型フィルターを入れました。18.15MHz の水晶の 8 倍は、145.200MHz となり VXO で使うと FM バンド内に好都合なので使いました。また、16Mx3x3 よりも出力が大きいようです。変調

はコンデンサーマイクの出力を直接バリキャップにかけています。バリキャップは、1SV101 を使っています。VXO コイルとしては FCZ10S3R5 が良いようです。およそ 6~9μH くらいがよさそうです。コンデンサーマイクの電源と同時にバリキャップの電圧として 5V をかけていますので、QRH を起こさないよう 5V のレギュレーターで電圧を安定化しています。このように直接、変調をかけるときは 200kHz 以上 VXO させないと十分に深く変調がかかりません。私は 144.92MHz に VXO コイルのコアで合わせています。トランジスタは 2SC3358 を使っています。ft が高い方が出力取れるかと思って手持ちから選びました。2SC1906 や 2SC3355~3357 などでも良いのではないかと思います。9V の 006p で 14.8mA 流れて出力は 15mW です。受信はハンディ機を使う予定です。

なお、この回路は拙著「手作りトランシーバ入門」のなかの 144MHz DSB トランシーバの VXO 回路と同じです。18.15MHz の水晶は、サトー電気の通販で入手できます。16MHz の水晶を使う時は、VXO の出力コイル 10S50 の同調コンデンサーを 15pF として 48M 帯を取り出せばあとは同じに出来ます。

基板の状態でわかりにくいと思いますが 144MHz FM 送信機の写真(図2)を添付しました。5V のレギュレーターを入れてありますが、レギュレーターだけで 2mA ほど余計電流食っています。9V を使っていますが、レギュレーターをとりさって電圧を下げて電池 3 本か 4 本で 4.5V、6V とすると 3~7mW 程度になりますが、このほうが TP には有利かもしれません。

(表1)PARTS LIST

Tr	2SC3358×2 (equivalent)
Di	1SV101
C	0.1μ×2, 0.01μ×3, 100p×2, 33pFX1, 7pFX4, 1pFX2
TC	20pF
R	47kΩ×1, 10kΩ×1, 4.7kΩ×2, 3.3kΩ×1, 470Ω×1,
L	100μH, FCZ3R5×1, FCZ10S50×2, FCZ144×2,
IC	78L05
X	18.15MHz (SATO)
SW	DPDT(2回路2接点)×1
MIC	ECM×1
	006P, Snap, 基板、スズメッキ線 1.0 少々、配線材

★RNR-2石 TX キット化!★

TP コンペスタッフでは RNR 今井さんの 2 石 TX の基板上部品を緊急キット化いたします。頒布対象は実際に製作し TP コンペに参加してみようという方です。

トランジスタは 2SC1906、サトー電気の 18.15MHz クリスタル、会長提供の 16MHz 台クリスタル(周波数は希望なくばお任せ)追加同封、小サイズの両面生基板がセットになります。ECM や DPDT スイッチは手持ちをご利用ください。価格 1800 円(送料 200 円)、事前注文数のみ限定生産です。

申し込み締め切り 3 月 14 日(土)、送付予定日 4 月上旬、

ご希望の方はメールで“TP 用 2 石 TX キット希望”として mx6s@yahoo.co.jp (または電話 080-5511-0550) まで住所をご連絡ください。代金はキット発送時にご連絡しますので銀行郵貯、切手金券などをお願いいたします。発送時には測定用抵抗セットの同封も OK です。

QRP TP へタマンガ



QRPで遊ぼう (楽しいQRP)

編集担当 JA1BVA 齊藤 正昭

SAITO Masaaki



今月は、いずれもそのエリア内お一人だけの会員から QRP 報告を頂きましたので、ご紹介します。沖縄県那覇市が常置場所の JS6PLY 松田さんからは、ペランダアンテナの紹介、小笠原村の JD1BKW 北川さんからは、ある日の父島移動運用の報告です。

私のペランダアンテナ

JS6PLY 松田裕仁



沖縄で唯一の会員ということで投稿依頼を頂きましたが、転勤族の悲しい定めで、現在 2 エリアに単身赴任中です。昨年 6 月までは 1 エリアに単身赴任していました。そのため、沖縄からは年に 3 回、ゴールデンウィークとお盆と年末年始の休暇で帰ったときだけ、家族サービスの合間に細々と運用している状況です。(単身先では仕事が多忙なため殆ど活動休止状態です。)



沖縄の青空に映えるペランダアンテナ

私は、沖縄ではマンションの 4 階に住んでいて、多くのアマチュアの方々と同様、アンテナが一番の悩みの種で、また最大の関心事でもあります。開局して間もない頃、色々な記事を参考にして制作したのが、ペランダの幅約 6m を一杯に使った 18 / 21MHz の 2 本ダイポールアンテナです。

これは、建物に近く、かつ、平行に架設しているため、SWR が下がらなかったのですが、バラに同軸ケーブルのスタブを取り付けて、カットアンドトライで SWR を 1.1 程度まで追い込むことができました。18MHz と 21MHz のエレメントの間隔は約 4cm で、爪楊枝で固定しています。また、バラの部分には、ビニール袋を被せて簡単にスコール対策をしています。いつかしっかりと防水対策しなければと思いつつ 10 年以上経ってしまいました。

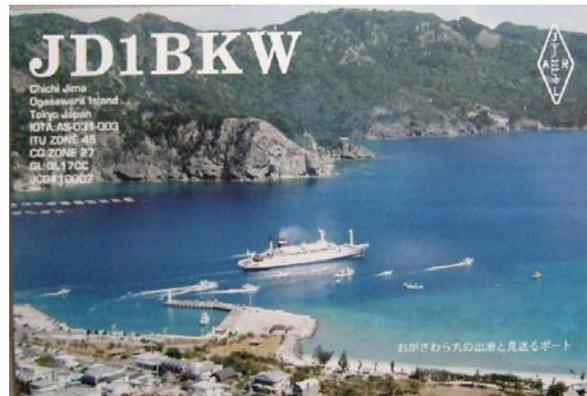
このアンテナは、運用時に架設、終わったら撤収を繰り返していますが、今でも無調整で使用できます。

このアンテナと開局当初から使用している「QRP-PLUS」で全国の方々と CW で QSO して頂きましたが、現在はサイクルボトムのためコンディションが悪く、残念な状況が続いています。

このほかに、1 エリアに住んでいるときに製作した 7MHz の MV アンテナがありますが、こちらはあまり飛びがよくないため試行錯誤しています。今度、休暇で帰ったら移動運用で実験してみようと思っています。弱い電波が聞こえたら、お声がけよろしくをお願いします。

こちらは JD1...あなたの出番です

JD1BKW 北川久晃



「おがさわら丸の出港と見送るポート」

重い遮光カーテンをシャッと開ける。太陽の光と熱が部屋に飛び込んできた。ペランダに出て空を見上げる。眩しくて目が細くなる。だけどその先には、青い空が広がっている。「よっしゃ、行くか!!」と、こんな感じで移動運用の一日が始まります。IC-703 用のバッテリーを充電器から取外し、まずは電圧チェック!これだけでも安心感が得られます。(充電器には接続したのに、コンセントにプラグを差し込んでいなかったことがありましたから)

そして、いつものデイバッグにリグ類を詰め込みます。基本的には IC-703・マイク・同軸・バラ・ワイヤダイポールエレメント数種・ロープ、ノート&ペン・時計・カメラ・タオルなどが入ります。そのほか SWR 計・パソコン・GPS・双眼鏡などを持っていくこともあります。

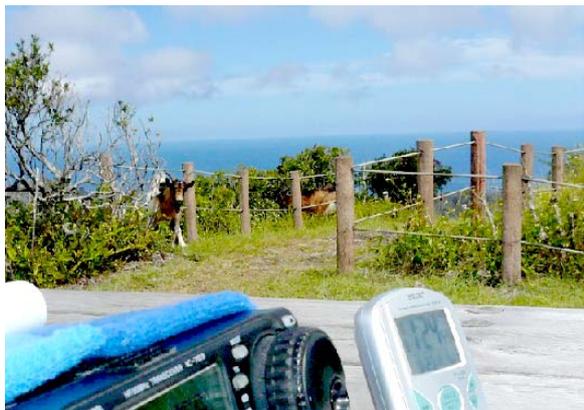
家の近くのお店に寄って、パンとポカリスエットを補充し、さあ出発です。だいたい前夜までには、どこに移動するかは決めてはいるのですが、出かけた先がスコール(局地的大雨)だったり、前を走る車がこれから登ろうとする山の駐車場に入っちゃったりと、島ならではの出来事があるので、複数候補地を挙げておきます。特に夏場など、東京からの定期船が入港しているとき、「まさか、ここまでは来ないだろう」というマイナーな場所で移動運用していても、観光客

が散策してきますので気を抜けません。



中央山(319m)で運用中

さて、本日の運用地に到着したところで、車から伸縮ポールを取り出しデイバッグを背負います。場所によってはスニーカーに履き替えますが、いつもはホームセンターで480円程で販売されている通称「便所サンダル」でスタスタと行っちゃいます。もう5年も使っているので、一番足にフィットしているのです。どの運用地も、車から降りたら10~20分程度、山道を歩けば着いちゃいます。あまり時間のかかるところは、仕事で緊急呼び出しされたときに対応できなかつたり、運用中にお腹が痛くなってしまったときに辛い思いをしなければなりませんので…。



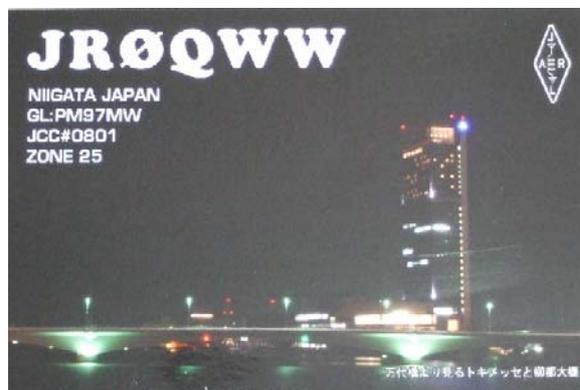
野生のヤギ(前方に2頭)がCQに応答してきました

さあ、到着です!狙い通り、誰もいません。貸切状態です。まずは、ポカリをグビッ! 一息ついてから伸縮ポールを設置します。滑車にロープを通し、バランをもやい結びで固定!同軸ケーブルをバランに接続。21MHz用のワイヤダイポールをバランに接続。するするするとロープを引き上げる。リグにバッテリーと同軸を接続し電源オン!21MHzに周波数を合わせる。聞える聞える! 数局出ていることを確認してから、エレメントを展開します。お!もっと聞えてきた。
ノートを開きペンを持ち、マイクを接続し
「CQ CQ CQ こちらは…」
おっ!ここから先は、あなたの出番ですよ!

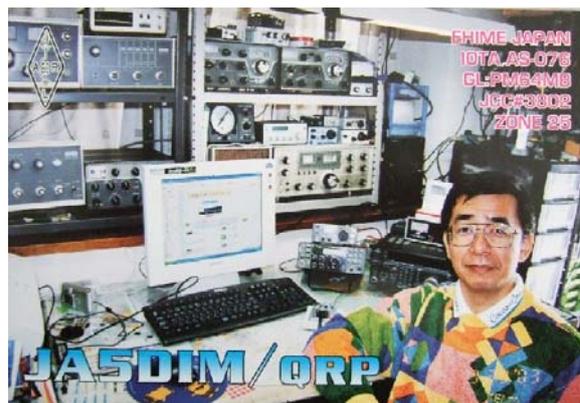
会員のQSL 紹介

JA1BVA 齊藤正昭

2008年度最後を飾り、JR0QWW 井口さんと JA5DIM 林さんのQSLをご紹介します。



「万代橋より見るトキメッセと柳都大橋」
井口さんお気に入りの夜景でしょうか。



往年の名機が並び、林さんご自慢のシャックです

QTC

1年間、多くの会員の皆さんの投稿で「QRPで遊ぶ」を盛り上げていただき、ありがとうございます。4月から新しい会報発行体制が執られることから、本号を持って「QRPで遊ぶ」の担当を終了します。 72

コンテスト通信

JF6LIU/1 富樫 栄
TOGASHI SAKAE



2008年10月11日～12日にかけて開催された第29回全市全郡コンテストの結果が発表されました。今回QRP部門において、参加数に対するQRP会員の占める割合を算出してみました。

電信 16.6%
電信電話 7.0%
(合計 23.6%)

昨年の6mAND Down コンテスト、Field Day コンテストと同様、電信部門の参加者が圧倒的に多いことが分かります。電信マルチ部門においては約30%を占めておりました。電信部門はマルチ、HFローバンド、50MHz帯、また電信電話部門はマルチ、50MHz帯に人気があるようです。

2008年全市全郡コンテスト結果

* シングルオペの表記は省略。

* 順位はQRP

●電信部門

○オールバンド(部門CA)

順位

9	JA5DIM	17,262
8	JA2MAX/1	11,970
10	JR1CHU/1	268
11	JA1XWK/1	156

○3.5MHzバンド(C35)

順位

4	7K1CPT/1	2,907
---	----------	-------

○7MHzバンド(C7)

順位

3	JK1TCV	11,124
---	--------	--------

○50MHzバンド(C50)

順位

関東	4	JP1GTS	306
東海	2	JG2GSY	180
関西	3	JH3DMO	16

●電信電話部門

○オールバンド(XMA)

順位

1	JF6LIU/1	275,400
5	JA1TAZ/1	100,719

○50MHzバンド(X50)

順位

東海	3	JF2UJG/2	868
北海等	1	JR8DAG	140

* 2009年QRP CLUB DATA BOOK からコールサインを抜粋

3月度QRP部門コンテストカレンダー

国内

●第49回東海QSOコンテスト

開催期間:3月20日(祝)9:00~15:00

使用周波数帯:3.5MHz帯以上

部門:電信電話シングルオペオールバンド QRP

海外

●ARRL International DX Contest

開催期間:3月7日(土)9:00~8日(月)9:00 (JST)

使用周波数帯:3.8~28MHz

部門:電信 QRP

●Russian DX Contest

開催期間:3月21日(土)21:00~22日(日)21:00 (JST)

使用周波数帯:1.8~28MHz

部門:電信電話 QRP

●CQ World Wide WPX Contest SSB

開催期間:3月28日(土)9:00~30日(月)9:00 (JST)

使用周波数帯:3.5~28MHz

部門:シングルバンド、オールバンド QRP

コンテスト

JF6LIU/1 富樫 栄
TOGASHI Sakae (#753)



お知らせ

今年のQRP/QRPpコンテストの開催日を以下の通りに決定しましたのでお知らせします。規約等については次号に掲載します。

○2009年度QRPコンテスト

開催日:6月13日(土)9:00~6月21日(日)21:00 (JST)

※国際QRPデー(6/17)を含む9日間

○第3回QRPpコンテスト

開催日:7月18日(土)09:00~7月20日(月/祝)21:00(JST)



コンテスト通信は、今月号を持って打ち切りとなります。約1年間短い期間でしたがありがとうございました。2009年度からはコンテスト(スタッフ)担当業務を引き継ぎ専念することとなりました。コンテストの結果や感想等を踏まえ多くの方が参加できるような楽しいコンテストを目指したいと考えております。引き続きよろしくお願ひいたします。またコンテストに関する記事がありましたら短文でも結構です。是非お知らせください。よろしくお願ひいたします。

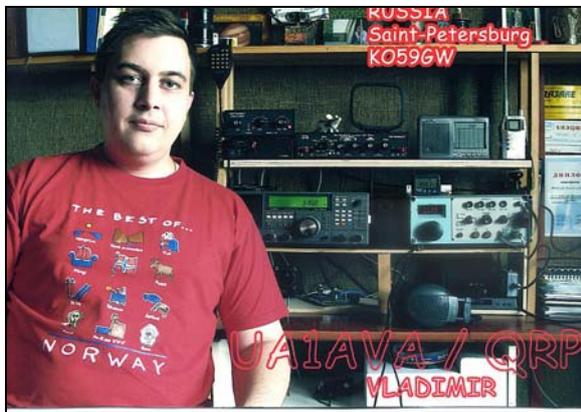
QRP な DX の世界から
海外の QRPer

JA1KGW 青山憲太郎
AOYAMA KENTARO



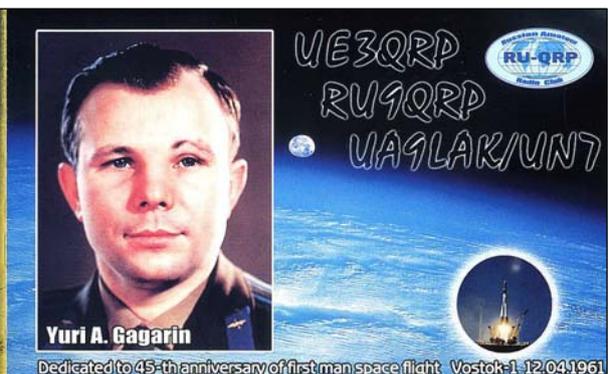
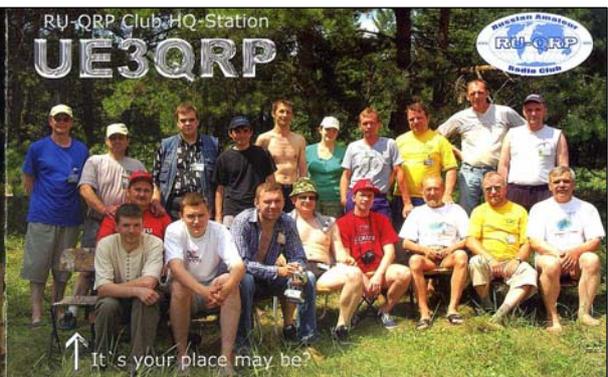
■ ロシア QRP クラブ (RU-QRP Club) 局、
UE3QRP/3/QRP よりの QSL カード

平成 20 年 (2008 年) 10 月 4 日、19:40JST、14.060 MHz の CW により RU-QRP Club HQ-Station (ロシア QRP クラブの本部運用局) の UE3QRP/3/QRP/QRP、Vlad さんと 2WAY QRP QSO が出来ました。Vlad さんは、元々自身のコールサイン、UA1AVA/QRP と UA9LAK/UN7/QRP を運用している局です。因みに、UA1AVA/QRP とは、過去 14 回の 2WAY QRP QSO、UA9LAK/UN7/QRP とは過去 11 回の 2WAY QRP QSO がそれぞれ出ています。Vlad さんは、大変にアクティビティの高い QRPer です。



QSLカードの右面の集合写真の左下の空き椅子の処には矢印で“it's your place may be? (ここにあなたが座りませんか?...クラブへの勧誘?)”と洒落た文句が書かれています。

同時に、Vald さんからは、1961 年に Vostok-1 (ボストーク 1 号) により、最初に宇宙飛行した Yuri A. Gagarin (ガガリン) の 45 周年記念カードが送られて来ました。ロシアが最先端技術を誇る宇宙技術をテーマにした記念 QSL カードは、素晴らしいものですが、日本の放送、通信、気象衛星を宇宙に打ち上げたロケット技術もまた世界に誇れるテーマですが、当クラブでも“かぐや”が月面の地平線を上がる 青い地球を高精細カメラで撮影した写真を取り入れた記念カードが出来ればと思っています。



DX 短信

JA1KGW 青山憲太郎 AOYAMA KENTARO

2月の短信 (1月16日~2月15日)

JA1KGW 青山憲太郎

一体お空はどの様になってしまったのでしょうか? と首を傾げたくなる様な状態です。先月から今月に掛けて、1月19日にSSN=13になっただけで、その後は太陽の表面は“シミ”一つ無い美人顔です。

先月、JA1AA 庄野OMからローバンドのレポートを頂きました。今月は、7MHzを特に注意してQRVしてみました。アンテナは、以前JA1BVA 齊藤OMからお知恵頂いた“三角形ループ”です。頂点が約10mの高さで、全長は42m、底辺の中央にSGC社のSG230オートチューナーを入れてあります。この全長が42mの長さで、1.8~28MHz迄SWRは1.5以下でカバーできています。QSOをしている局に混信の中からQRPの弱い信号をピックアップして貰うのは大変難しいので、主としてCQを出している局を狙ってQSOをしました。

ハイバンドの14MHzと18MHzは、早朝のWと夕方のEUをワッチしたものです。

JA1AA 庄野久男

年が改まれば、CQ-WW-160 のテストがあることだし、新しいアンテナの成果もみたいと思いながら、10メガ以下のバンドのワッチを 20 時頃まで続けました。しかしサッパリで案じながらも、24 日からの規約改正などで宣伝されたテストに参加をしました。しかし猛烈なJA局の連呼の中で夜中までに受信できたのは弱いKL7とHA9/0にHL局のみで、5Wでは完敗でした。初めての事です。もっとも早朝には南米が大きく開け、大成果を上げた局も多かったと聞きました。

DATE	JST	CALL	HIS	MY	FREQ.	RMKS	RPT
2017/1/9	1540	RA0JF/QRP	599	599	14.06	5W,GP	JA1KGW
2017/1/9	1600	EW7BW/QRP	339	559	14.059	5W,DELTA LOOP	JA1KGW
2017/1/9	1625	RZ4NWA	559	579	14.0595	10W,2CQ	JA1KGW
2017/1/9	1640	DL8FCY	539	549	14.059	OP;Manfred	JA1KGW
2017/1/9	2019	DS1REE	599	599	3.506		JA1AA
2020/1/9	1616	AH2L	599	559	18.08	OP:Ed	JA1KGW
2020/1/9	1631	UA4NU/QRP	339	589	14.06	1W,IV	JA1KGW
2021/1/9	1450	UA9KW	589	559	14.025	OP;Yuri	JA1KGW
2022/1/9	1458	RN3QP	579	559	14.023	OP;Nick	JA1KGW
2022/1/9	2207	UA3KA	599	559	7.012	OP;Andy	JA1KGW
2022/1/9	2225	UA3KA	599	449	7.0024	OP;Igor	JA1KGW
2022/1/9	2307	JT1DA	599	519	7.0131	OP:ENKHABAYAR	JA1KGW
2023/1/9	720	LZ2VU	599	529	7.001	OP;Peter	JA1KGW
2024/1/9	545	LY2FM	599	569	7.00225	OP;Richard	JA1KGW
2024/1/9	610	LY2W	599	569	7.002	OP;Arthuras	JA1KGW
2024/1/9	2100	DK3AOL	579	549	7.003	OP;Dimitry	JA1KGW
2024/1/9	2138	K2VV	599	549	7.0122	MO,OP;Jhon	JA1KGW
2024/1/9	2155	EW7LO	599	499	7.0035	400W,3Y,OP;Vlad	JA1KGW
2025/1/9	700	LZ1MS	599	589	7.003	1KW,3Y,OP;Rumen	JA1KGW
2025/1/9	710	YU1DW	599	579	7.001	OP;Mirosiav	JA1KGW
2026/1/9	2035	RN6ON	599	579	7.003	OP;Alan	JA1KGW
2027/1/9	1635	I1YRL	589	579	14.01	IC761,TH7DXX	JA1KGW
2027/1/9	1650	ES8DH	599	599	14.016	OP;Roy	JA1KGW
2027/1/9	2040	DS3MOY/QR	559	559	7.003	5W,OP;Kim	JA1KGW
2028/1/9	715	KK7BL	579	339	14.058	WA,OP;Jerry	JA1KGW
2029/1/9	721	N0EK	599	549	14.0603	AK,OP;Ed	JA1KGW
2029/1/9	1550	HL4CEL	599	599	18.079	OP;Somg	JA1KGW
2029/1/9	1620	UU7JF/QRP	539	559	14.0602	5W,Op;Vit	JA1KGW
2029/1/9	1635	RV2OM	559	559	14.06	Kallingrad	JA1KGW
2029/1/9	1638	S58AW	599	559	14.0601	OP;Branko	JA1KGW
2029/1/9	2011	UN7GX	599	599	7.008		JA1AA
2029/1/9	2105	DT0ID	599	599	7.013	QSL 6K2GDT	JA1KGW
1930/1/9	1645	DL0NW	599	529	14.004	700W,2CQ	JA1KGW
1930/1/9	2200	UA3AK	599	569	7.0074	OP;Igor	JA1KGW
1931/1/9	2018	HL1/SP5AUC	599	559	7.007	OP;Tom	JA1KGW
2001/2/9	1702	RZ0SO/QRP	529	579	14.06	5W,GP,OP;Oleg	JA1KGW
2001/2/9	710	IK4ALM	559	559	7.007	OP;Alex	JA1KGW
2001/2/9	730	YO8TOH	599	599	7.003	OP;Alex	JA1KGW
2001/2/9	1556	DS3MOY/QR	479	579	7.003	500mW	JA1AA
2003/2/9	708	JT1AA	599	559	7.005	OP;Ganyvlga	JA1KGW
2004/2/9	656	JT1DA	599	559	7.002	OP;Enkhubayar	JA1KGW
2004/2/9	2130	W9NGA	599	559	7.007	AZ,OP;Don	JA1KGW
2005/2/9	639	YO9HP	599	559	7.01	OP;Alex	JA1KGW
2006/2/9	705	W7BU	599	559	14.008	100W,OP;Gene	JA1KGW
2006/2/9	1618	RA3AL/QRP	439	559	14.06	1W,3Y,OP;Gen	JA1KGW
2006/2/9	1930	YO9HP	599	449	18.082	OP; Alex	JA1KGW
2007/2/9	1532	EU7SA	599	579	18.073	OP; Andy	JA1KGW
2007/2/9	1547	RW6BX	539	339	18.086	OP; Alex	JA1KGW
2007/2/9	1648	UT1IM	559	559	18.086	OP; Vlad	JA1KGW
2007/2/9	1558	LZ1GU	559	569	18.086	300W,OP;Harry	JA1KGW
2007/2/9	1630	F5IN	599	559	14.028	OP; Michel	JA1KGW
2007/2/9	1956	ZK4YI/1	599	599	3.51		JA1AA
2007/2/9	1911	9M6XRO	579	599	7.006		JA1AA
2008/2/9	700	K7TQ	579	559	14.0612	ID, OP; Randy	JA1KGW
2008/2/9	715	N0EK	599	559	14.06	AK, OP Ed	JA1KGW
2008/2/9	725	KI0J/QRP	559	559	14.061	CO, OP Albert	JA1KGW
2008/2/9	2005	RV9CX	599	559	7.005	OP; Dima	JA1KGW
2008/2/9	2125	HL2KIG/QRP	589	549	7.01	4W,GP,OP;Choe	JA1KGW
2008/2/9	2150	RW9JZ	599	569	7.0065	OP;Leo	JA1KGW
2008/2/9	2258	EW7LO	599	559	7.003	OP; Vlad	JA1KGW
2009/2/9	655	W6DVO	579	539	14.06	100W,R7000	JA1KGW
2009/2/9	705	K7RR	579	339	14.0595	WA, OP; Pete	JA1KGW
2010/2/9	721	NY7N	579	579	14.0595	100W,DP,OP;Georg	JA1KGW
2010/2/9	1635	UT5UX	579	579	14.013	OP; Vic	JA1KGW
2011/2/9	705	N6MOB/QRP	339	449	14.059	2W	JA1KGW
2011/2/9	1146	RW0LFN	579	549	7	wkd 1W(MFJ Cub)	JA1KGW
2011/2/9	1703	UR5ICG	599	569	18.086	OP; Vlad	JA1KGW
2011/2/9	2129	RW9IZ	549	569	7.006		JA1AA

古炉奈通信(懇親会顛末記)

JR1QJO 矢部 伊知郎

YABE Ichiro



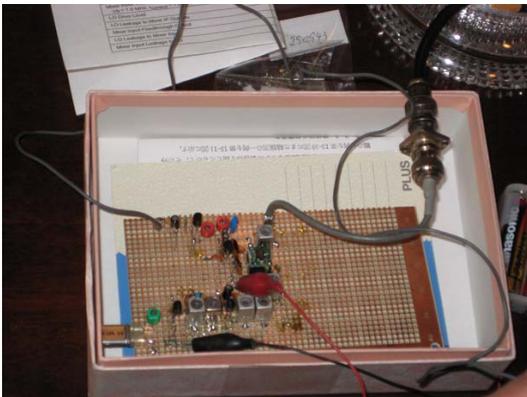
第 123 回 QRP 懇親会

今年は暖冬ですっかり春めいた 2 月 7 日に第 123 回 QRP 懇親会兼新年会を古炉奈の会議室にて開催されました。

トップは JA9TTT/加藤さんのたった 12V で動作する 2 球 CW 送信機です! 仕掛けの種明かしは 1950 年代のカーラジオ用の古い球を使ったことです。加藤さんによるとこれらの球はスピーカーを鳴らすことができないので発明されたばかりのトランジスタが使われたそうです。真空管を使う理由は当時のトランジスタが高価だったため球が使えるところはなるべく球ですませたそうです。プレート電流が流れにくいので送信機自体も自然とQRPIになります。



JG1EAD/仙波さん彼自身の2mトータルパワー送信機を持ち込みました。仙波さんはネットで入手したローパワーミキサICを使っています。周波数変調は 10.7MHz で行い、古いFM機の受信水晶を使って 145MHz まで持ち上げています。綺麗な箱に入っていますが、発想は大胆です。

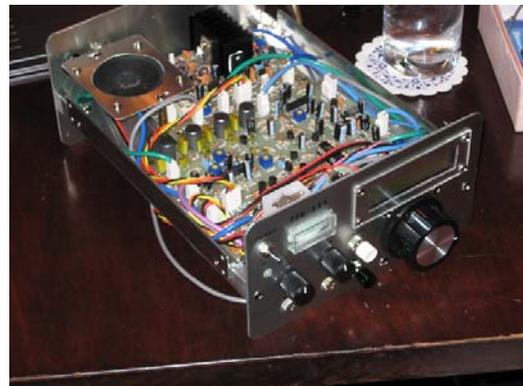


小生、JR1QJO もモトローラのコードレスフォン用 IC の MC2831 を使った2mトータルパワー用の実験送信機持ち込みましたが不覚にも写真を撮りそくなりました。JH1ARY/黒田さんは最近真空管での実験が盛んのように、どんな球でも差し替え可能な再生式受信機を持ち込みました。ソケ

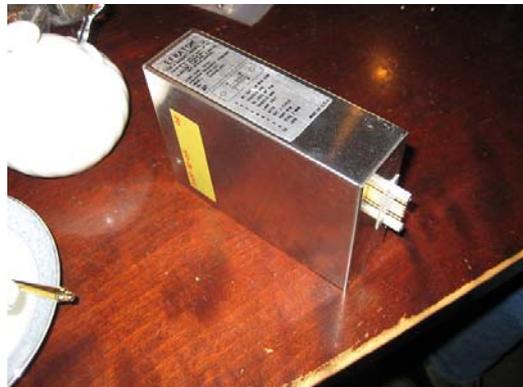
ット部分がプラグイン式になっておりピン接続も自由自在に変更可能です。送信球での再生受信ができるよ、と黒田さんは 2E24 を差し替えて実験して見せました。



今回のミーティングのハイライトは 7K1CPT/山田さんの既成ケースに見事に収まった PSN634 キットです。目を見張るのは、恐らく山田さんが最初にこのキットを完成させたのと、その見事なお出来栄えでしょう。山田さんによればまだ調整が必要とのことですが、仕上げは抜群です。



最後に加藤さんがネットワークシオンで落としてルビジウム周波数標準が披露されました。この周波数標準は中国の携帯基地局に使われたそうですが機器更改に伴って放出されたそうです。かつては原子周波数標準はとても高価で実験室用と言われていましたが、今日では携帯電話技術のおかげで比較的安価に入手できるようになりました。大きさもハードディスクドライブ位で古い実験室用も物に比べて小型になっています。



会合の続きは何時もの「天狗」で行われました。自作などの無線談義をビール片手ラグチューする至福のひと時でした。72

役員会便り

事務局 7L3DNX 竹野 巧
TAKENO Takumi



■国際 QRP デー特別記念局について

この度、JARL QRP CLUB では、国際 QRP デー(6 月 17 日)を記念して、特別記念局として以下の局を運用する運びとなりました。ここに速報として広報させていただきます。

(1)全体責任および取りまとめ体制

- 免許人 JARL 原会長
- | (開設申請者:各県支部長)
- |
- |←委託/運営責任者 JARL QRP クラブ会長
- | JH1FCZ 大久保 忠
- |
- |← 全体運営責任者: JARL QRP CLUB 事務局長
- | 7L3DNX 竹野 巧
- |
- |← 運用局及び運用責任者
- コールサイン 運用責任者
- 1エリア 8J1P JF6LIU/1
- 4エリア 8J4P JA4CFO
- 6エリア 8J6P JA6SZC

(2) 運用の日程

2009 年 4 月 26 日(日)~6 月 30 日(火)まで

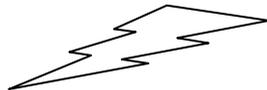
(3) 補足説明

8J1P については開局の意思決定が遅れたため当初計画 に入っていませんでしたが特別記念局の申請に間に合わせる事ができたため今回開設する運びとなりました。

なお、詳細につきましては、追って会報、Web、ML 等でア
ナウンスしていきますので、よろしくお願ひします。

以上
JARL QRP CLUB 会長 大久保 忠

8J1P



8J4P



8J6P

国際 QRP デー特別記念局

■アンケートについて

QRP NEWS February 2009で、役員会より”クラブ会員の皆さんへはがきアンケートに関するお願い”をしました回答は 2 月 28 日、締めきりとさせていただきます。

会員皆様のご協力により、はがき、封書での回答 104 件、メールでの回答 15 件の合計 119 件(2 月 28 日時点)の回答をいただき有り難う御座いました。

これから、はがきとメール回答を精査して集計を行い、結果は 4 月号で会員の皆さんに報告できると思います。猶、集計結果に基づき、役員会で検討の結果、”会報の発行”及び関連の具体的な方針・方策に付いては、出来れば 4 月号、遅くとも 5 月号には会員の皆さんにお知らせできると思います。暫く時間を頂きたいと思ひます。

副会長 JA1KGW 青山 憲太郎

■予算案の中の積立金について質問への解答

ご指摘の様に 2008 年度予算の会費見込金額で PDF 会員 182 名と郵送会員 183 名が推定の元になった 2007 年の会費納入数の実体から合わせて 50 名程多くなってしまっていました。2007 年度の会費納入数をほぼ折半して PDF を 132、郵送を 133、入会は同数の 25 と推定しキーボードから打ち込む際に読み間違えていたのに気が付きませんでした。申し訳ありません。今後は転記を極力減らして複数の目で再検を行うようにして再発をなくしていきます。又今期設定した積立金は実際に年度内に支出を伴う予定が無い仮の項目のために年度内の支出予定の項目には入れていません。分けて管理することになる前年繰越金のある収入の部から積立金とした額を見かけ上減額し年度の収入見込みとしています。

会計担当 JR3ELR 吉本信之

2008年度QRPクラブ事業計画 吉本信之
修正2009年3月1日

収入の部		予算額
①前期繰越		¥1,136,141
pdf会費 (132名×¥3,000)		¥396,000
郵送会費 (133名×¥4,000)		¥532,000
入会金 (25名×¥1,000)		¥25,000
記念事業積立金		¥-100,000
記念局整備積立金		¥-50,000
選挙費積立金		¥-10,000
②当期収入見込み合計		¥793,000
③収入見込み合計		¥1,929,141

支出の部		予算額
会報発行費		¥500,000
会議費		¥200,000
事務費(料金を含む)		¥50,000
コンテスト費		¥50,000
ハムフェア運営費		¥120,000
関西ハムフェア運営費		¥30,000
全国集会補助金		¥50,000
全国集会フォーラム費		¥10,000
エリア担当費		¥50,000
各種担当費		¥50,000
④当期支出見込み合計		¥1,110,000

繰越の部		予算額
③収入見込み合計		¥1,929,141
④当期支出見込み合計		¥1,110,000
⑦次期繰越見込み		¥819,141

■継続会費の入金をお忘れなく!!

以下に、振込み用紙の記載例を本ページの下段に示します。

振込み金額等の詳細は会報最終ページの「会費振込先」をご覧ください。

また、入金処理は、**4月1日以降で4月末日まで**にお願い致します。

■ホットライン

会員と役員会を結ぶホットラインを開設しています。ご意見、ご要望、ご提案、情報提供、会報への投稿、何でもお気軽に以下のアドレスまでご連絡ください
アドレス: qrpclub_hot_mail@jaqrp.org

■会報編集の効率化のためのお願い!!

投稿原稿を電子データにてお送りいただく場合、文章中の英数字はすべてにおいて必ず半角英数字を使用してください。また、カタカナについては必ず全角文字の使用をお願いします。(編集担当)

払込取扱票

00 001705 15853

JARL QRPクラブ

メールサイン 会員番号

郵送4000円 ←どちらかに○→PDF3000円

※4月1日～4月30日の間に送金下さい。

依頼人 (ご振込電話番号)

日附印

振替払込請求書兼受領証

001705 15853

JARL QRPクラブ

依頼人

日附印

金額

備考

継続会費入金票記入例

会員紹介

事務局 7L3DNX 竹野 巧
TAKENO Takumi



新会員を紹介いたします。

#822 JF1ISC OKUBO Naofumi 大久保 尚史

2007年11月、35年ぶりにアマチュア無線に復帰しました。Ex. JA8DIQです。復帰した途端、3エリアにQSY。以来、817だけでアパマンQRPerやっています。無理かなと思っていた80m、160mでも、そこそこ飛んでいるので、ますますこの世界にはまってしまいました。久しぶりに円高に振れていますので、この際、QRP kit を買い漁ろうかなど、思ったりしています。

保有QRP無線機等(メーカー型名など)

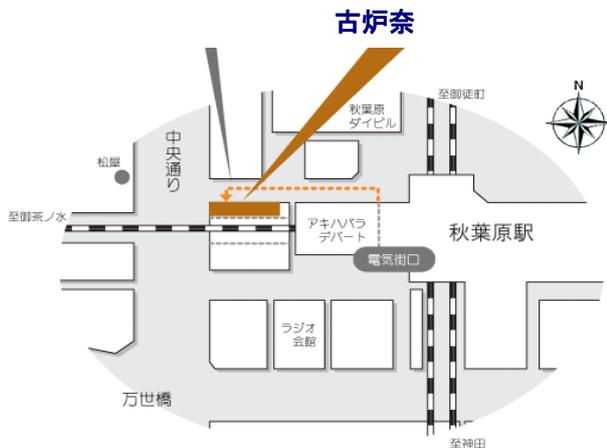
- ・ FT-817ND
- ・ Wilderness Radio の SST-30 を組み立て中。でも、部品のカラーコードやら記号は見づらいし、指先は思うように動かないしで、若干めげています。完成はいつになることやら…。

QRP 懇親会のご案内

新宿懇親会プロジェクト担当
JR1QJO 矢部 伊知郎
YABE Ichiro



日時:3月7日(土)16:00-18:00
場所:炭火珈琲庵「古炉奈」(地図参照)
千代田区外神田 1-14-3
秋葉原デパート並び電波会館 2F
電話:03-3251-5359
お問合せ:JR1QJO 矢部 伊知郎
E-mail:ichiro_yabe@nifty.com
*この懇親会はどなたでもご参加いただけます。



編集後記

7L3DNX 竹野 巧 TAKENO Takumi



新役員体制になり、やっと1年が経過しました。その間事務局と兼務で会報の編集も行ってきました。多くの皆様のご協力により紙面も充実して参りましたが、このような形での会報発行には限界があり、今後もこのままこの体制での発行を継続することは難しいと考えております。

先日行いました役員会によるアンケートの集計結果を待たなければ、最終的な今後の方針について決定することはできませんが、それまでの間、あるいは結論が出ないことも想定して、誠に勝ってながら、来年度の4月号より今までお願いして原稿を執筆していただいたアシスタントの皆さんを解放し、今後は原稿が届いたものがある場合、また役員会等からの連絡事項がある場合に限り会報を発行する方向で進めて行きたいと思っております。従いまして、現在のような会報の姿が一変する可能性もありますが、会員の皆様におかれましては、ご理解、ご了承の程宜しくお願い致します。

この一年間、ご協力を戴いたアシスタントの皆さんには大変ご苦勞をおかけしました。ここにあらためてお礼を申し上げます。ありがとうございました。(Tak/7L3DNX)

投稿募集

会報へのお便り、投稿は郵送、またはE-mailで以下の宛先までお送りください。

竹野 巧 7L3DNX
〒211-0042 川崎市中原区下新城 3-7-3-504
E-mail : naf01266@nifty.com
会報への投稿締め切りは毎月15日です。

会費振込先

入会金(再入会時必要)1,000円(高校生以下半額)
会費(継続の場合も同様)
会報紙会員年額4,000円(家族、高校生以下2,000円)
会報PDF会員年額3,000円(家族、高校生以下1,000円)
会費振込先(郵便振替)
加入者名:JARL QRPクラブ □座番号:00170-5-15853
注意:通信欄に「新規入会」、「再入会」、または「継続」と明記の上、希望会報の種類(紙またはPDF)を明記し、会員番号(継続会員及び旧会員)、コールサインとPDF希望者はE-mailアドレスを忘れず、必ず明記してください。
継続会費の払込は、毎年4月1日~4月30日の期間にお願いします。

発行人 大久保 忠 JH1FCZ
発行所 JARL QRP CLUB
ホームページ: <http://www.jaqrp.org/>
事務局 竹野 巧 7L3DNX
〒211-0042 川崎市中原区下新城 3-7-3-504
E-mail : naf01266@nifty.com
会報印刷所 石川県身体障害者福祉工場
(社会福祉法人 石川サニーメイト)